



館林市強化計画・ 館林市ハザードブックについて

今野 郷士 議員



避難所の感染症対策は

質問 各避難所に次亜塩素酸水生成装置を配備する予定はあるのか伺います。

答 本市としては次亜塩素酸水生成装置を避難所に配備する計画はありません。

要望 今後の感染症防止対策として、避難所には次亜塩素酸水生成装置を配備す

ることを強く要望します。

自宅避難の考え方は

質問 現在の避難所となる施設の増築、施設内スペースの拡大等は、現状難しいと思います。そこで自宅避難が必要になると思いますが、本市の考え方を伺います。

答 新型コロナウイルス

感染症の蔓延が懸念される中、避難所そのものの抜本的な見直しが必要であると考えます。避難所だけに集中させない「分散避難」の考え方を周知することが必要であると考えています。それに伴い、水や食料の他、カセットコンロなどの燃料、トイレ用品など、生きるために必要なもの、特に水や食料は一週間分を目安に備蓄することが重要であり、市民一人ひとりが「自らの命は自らが守る」とい

う、自助の意識を持つていただくことが、館林市強化計画の一助になると捉えています。今後も防災啓発や備蓄などを一層充実させていくことを考えています。

質問 医療機関だけでなく、最前線の現場で働いている人達のことについて本市の考えを伺います。

答 今回の新型コロナウイルス感染症対策を契機に、改めて人は多くの人々に支えられて生きているということを再認識し、その感謝

の思いを何らかの形で表現したいと本市としても考えています。

要望 市役所や各事業所の現場の最前線で頑張っている職員・社員など、人々の生活や暮らしを守る業務に従事されている皆さんのモチベーションアップに向けて、市長さんをはじめ幹部の職員から「ありがとう」のひと言をかけるなど、ねぎらいの言葉や感謝の気持ちを添えて激励してほしいと感じます。



本市の人口減少問題について

齊藤 晋一 議員



質問 人口減少問題への取組について伺います。

答 第六次総合計画を策定中です。合わせて次期総合戦略を更新する予定です。人口減少や少子高齢化という問題は、市政運営における重要な課題であり、持続可能なまちづくりを目指す上で、総合計画と総合戦略

は共通した考えで取り組む必要があり、一体的に策定することとしました。

質問 人口減少対策の一環としての移住定住の取組について伺います。

答 総合戦略の基本目標2に、地方への新しい人の流れをつくることを掲げ、各施策を実施しています。

移住相談会、移住定住促進通勤支援金、Uターン支援奨励金、さらに本年度、定住促進通学支援金を創設しました。今後もこれらの施策を実施し、移住定住者の増加につなげたいと考えています。

質問 本市における交流人口について伺います。

答 市を代表する観光資源を広くPRすることで、本市を知っていただき、交流人口を拡大させ、また興味をもっていただくことで繋がりを深め、移住定住の

推進を目指しています。

質問 日本遺産、アニメの聖地を交流人口の増加にどのように活用するか伺います。

答 里沼が登録されたことを最高の好機と捉えて、本市の魅力発信の重要施策であると考えています。現在、本市の歴史や文化財と観光や産業などを里沼と融合させ、地域振興あるいは交流人口、関係人口の増加に向けて注力しています。

に参画する関係人口に注目するべきと考えます。例えば、館林ファンクラブなど、交流、関係人口の増加に繋がる施策の実行・実施、その検討について伺います。

答 魅力発信や観光による交流人口の増加は欠かせません。各メディアを活用して魅力発信を行うほか、観光大使を任命し、全国にPRをお願いしています。ファンクラブ設立なども含め、様々な手法を研究していきたいと考えています。

質問 交流人口よりも、より多様な人材が地域づくり